

## 県夏季総合競技大会と二州地区夏季総合競技大会は中止になります。

現在、福井県においては、新型コロナウイルス感染症の発生状況は落ち着きを見せてはいるものの、「誰もが感染するリスク」、「誰もが感染させるリスク」は今後も引き続き存在します。福井県からも県民に対して「県民行動指針」、「新しい生活様式」の実践への協力が求められています。県内の小中高等学校においては6月1日から学校が再開されましたが、部活動の自粛は続いていたり、再開した学校においてもその活動場所は学校敷地内にとどめていたりする状況が続いています。

本校におきましても、6月18日(木)から6月中は火曜日、木曜日、金曜日の放課後50分間に時間を区切って、部活動を開始する予定です。2・3年生には、8日にこの部活動に参加するかどうかの同意書を配布させていただきました。部活動再開の初日には、各部でミーティングをもち、活動前の健康観察、検温、活動前後の石けん手洗い、共有道具の消毒、屋内は常時換気などを行うことの確認、開始10日間の練習メニューなどの確認を行う予定です。

ここまで4月28日に令和2年度の全国中学校体育大会の中止が、5月13日には第41回北信越総合競技大会(福井大会)の中止が、そしてこのたび新聞紙上にも掲載されましたように、第58回福井県中学校夏季総合競技大会も中止が決定されました。このような中、二州地区におきましても、二州地区夏季総合競技大会を開催できるかどうかについて検討が重ねられてきました。

二州地区夏季総合競技大会は、多くの中学生アスリートにとって1年間の集大成の場であり、とりわけ中学3年生にとっては、中学校時代の最高の思い出の一つとなり得る大会でもあります。どの関係者も、何とかやらせたい、その場を用意したいという強い気持ちを持って検討して参りました。しかしながら、どのように対策をとってみても、感染するリスクおよび感染させるリスクを全くなくすることが困難であること、競技毎に感染リスクの程度に違いがあり、どの程度なら開催可能であるという科学的知見があげられないこと、競技毎に可否を決めることが組織の中の公平性という点で問題があること、今、大会を開催することが審判や企業・事業所からの理解を果たして得られるのかということ、今後も感染症の拡大は予断を許さず、再度休校になったことに伴い出場不可能となった場合の選手や保護者の落胆度や自責の念にも配慮しておく必要があること、などが主な課題として上げられました。

以上のようなことを総合的に考えたとき、選手をはじめ、監督・コーチ、大会役員、保護者等、大会に関係する全ての方々の命と安全を守るため、中止もやむなしという決定に至りました。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 3年生が良い形で最後を締めくくれるような機会の設定を検討します。

3年生部員の部活動の区切りあるいは幕引きの方法は、これから各校の部活動毎に考えることとなります。記録会、引退記念練習試合、合同練習会、先輩後輩による紅白試合、医療従事者の皆様への感謝試合などの形となるかも知れません。学校単独になるのか複数の学校になるのかはわかりませんが、複数の学校とは近隣の学校同士の意味であり、二州地区内の学校となります。最後に部員全員で練習会場を磨き上げるなどの形を取るかもしれません。いずれの活動にしても、参加するのは生徒の自由意志であるため、保護者の承諾を必要といたします。また、6月に入り、早くも暑さが厳しくなってきましたので、熱中症予防の観点から、WBGT(暑さ指数)を注視し、無理のない試合運営を行うことも必要になってきます。それゆえ、この交流試合等の実施時期については、体力の回復やケガの防止の意味からも、6月の部活動再開後、1カ月以上の期間を置いて、7月下旬を目処に行うこととしたいと思います。

県大会および地区大会の中止ということで、運動部のことばかり申し上げましたが、全日本吹奏楽コンクールおよびその県予選が中止となった吹奏楽部においては、全体練習もままならぬ状況が続いています。これら文化部の区切りの方法についても、顧問と部員で話し合っ決めていくこととなります。今年の3年生は、新人戦や嶺南アンサンブルコンテストなどにおいて、これまでにないほどの良い成績を収めていましたので、中止の決定は、春、夏と期待してきた私としても個人的には残念な気持ちでいっぱいです。3年生部員には、ここまでの努力もチームメートも人生の財産だったと思える日がきっと来ること、各人の競技人生はこれで終わりでも今がピークでもないこと、どんな仕事をしていても、どこの学校に通っていても、命より大切なものはないことだけはわかってほしいと思います。そしてこのり9カ月となった3年生の中学校生活を、授業でも学校行事でもより充実したものになるように卒業の日までサポートしつづけていきたいと思ひます。